

評価書未明に搬入

辺野古アセス 沖繩防衛局長が指揮 県「手続き完了していない」

沖繩防衛局は28日午前4時すぎ、米軍普天間飛行場の名護市辺野古移設に向けた環境影響評価書の一部を4台の車両で県庁に搬送した。市民団体の抗議などで持ち帰った評価書もあり、県は「手続きは完了していない」との認識を示している。午前9時現在、市民団体が県庁内外で阻止行動を展開、緊迫した状態が続いている。夜明け前に評価書を持参した防衛省の手法に県内で反発が強まりそうだ。

評価書搬送には真部朗 陣頭指揮を執った。記者 終始無言だった。人がそれぞれ段ボール箱を一つずつ抱え、夜間の沖繩防衛局長が同行し、の問い掛けに真部局長は 分乗していた職員約20



県庁内へ環境影響評価書が入った段ボール箱を運ぶ沖繩防衛局職員ら＝28日午前4時6分、県庁

通用口から16箱を警備員が1人だけいた守衛室に次々と運び込んだ。

同日午前1時から現場で警戒していた市民団体のメンバー1人が激しく抗議し、報道陣が一連の行動を取材する中、評価書を入れた数個の段ボール箱を車両に持ち帰った。真部局長が乗った車両を含め3台は到着後約5分で現場を去った。

停車中、沖繩防衛局の森田治男企画部長は報道陣の質問に答え、「中身は評価書の書類」「20数個持ってきたが、運び込んでいない箱がある」などと話した。数箱搬入していない状況で「提出」と受け止めるかについては明言しなかった。

防衛局側が立ち去った後、県の上原徹管財課長ら職員数人が現場に到着。上原課長は押印など所定の手続きがないため「文書の受け取りは完了していない」と話した。

又吉進知事公室長は同日午前1時に要請で訪れた県議団に対し「現時点では(評価書を)受理したとは言えない。ただ、県は書類が整っていれば受け取らざるを得ない。書式などが整っているか確認する」と述べた。

動画

沖縄防衛局職員らが県庁の守衛室に環境影響評価書が入った段ボール箱を運び込む
28日午前4時7分、県庁



ドキュメント

28日午前1時ごろ 市民団体のメンバー1人が車両で県庁前に駆け付け警戒。

午前4時6分 沖縄防衛局の真部朗局長らに乗せた車両4台が到着。

午前4時7分 沖縄防衛局の森田治男企画部長ら約20人の職員が評価書の入った段ボール箱を1人1箱ずつ抱え、16箱を県庁内の守衛室に運び込む。

午前4時8分すぎ 市民団体のメンバー1人が守衛室に到着。職員らは押印などの手続きをせず、現場から慌てて立ち去り車両へ。評価書入り段ボール箱のうち数箱は県庁内に運び込まれず、そのまま持ち帰った。

午前4時10分ごろ 車両4台のうち森田企画部長の乗った1台が、市民団体のメンバー1人の抗議で県庁前に停車。

午前4時30分ごろ 森田企画部長が報道陣の質問に答え、「20数個持ってきたが、まだ運び込んでいない箱がある」と話した。

午前5時40分ごろ 森田企画部長に乗せた車両が県庁前から離れる。

午前5時45分ごろ 市民団体のメンバーが報道陣に対し「夜明け前に運び込むなんて許されない。暴力そのものだ」と沖縄防衛局の姿勢を批判した。

午前8時3分 県庁に到着した上原徹県管財課長が必要書類への記載や押印がなされていないことから「手続きが完了していない」と述べた。



市民の阻止で環境影響評価書を車両に運び戻す沖縄防衛局職員ら
28日午前4時8分、県庁



県庁の守衛室に保管された環境影響評価書が入った段ボール箱16個＝28日午前5時19分、県庁



環境影響評価書の搬入に同行する真部朗沖縄防衛局長
28日午前4時12分

詳細はあすの紙面をお読みください

ryukyushimpo.jp